

## 海外インターンシップを終えて

### 1. 行き先

大韓民国 テグ

### 2. 企業名

アジアサイエンスパーク協会 (ASPA)

### 3. 期間

平成 23 年 9 月 3 日 (土) ~平成 23 年 9 月 23 日 (金)

インターンシップ勤務期間は 10 日間

### 4. インターンシップの内容

「韓国」と聞くと、私たち若い世代には広く受け入れられている。理由として、最近の韓流スターや音楽などの韓国ブームが日本で起きている事や、安・近・短の韓国旅行の人気、日韓ワールドカップ共同開催などが挙げられる。私も、大学の講義やテレビを通じ「韓国」に興味があるひとりである。21世紀を迎え、激動する東アジアの中心に位置する韓国は、経済や文化、スポーツ面で今や日本にとって外すことのできないライバルでありパートナーでもある。その韓国で、アジア地域で活動をする ASPA のインターンシップに参加できたことは、私にとって学ぶことの多い貴重な経験となった。

10日間の勤務で、私は主に6つの仕事を行った。その中で、3つのことについて紹介したい。まず、ASPA についての理解が私に与えられた最初の仕事だった。アジアサイエンスパーク協会 (ASPA) とは、アジア地域の科学技術及び産業経済の共同発展を目指し、1997年に日本で設立された国際民間機構である。ASPA は“地域対地域”の協力と技術交流を通じ、“Asia Union”、“Techno Asia”を形成し、アジア地域の相互成長に貢献することを目指しているため、事業内容も多岐にわたる。事業内容は、文化交流やビジネス商談会、出

版や展示会など幅広い。中でも年次大会と言われるイベントは、ASPАの行事でも最大級のもので、アジア地域のサイエンスパーク、テクノパーク、リサーチパーク、ビジネスインキュベーター、大学、研究機関、ベンチャー企業などの地域革新をリードする機関及び企業が参加する。そこでは、300名以上の参加者が集まり専門分野別の研究内容の発表、共同開発課題の提案および議決、各国の産業技術政策の共有などを図っている。ASPАの皆さんと一緒に勤務をして、幅広い事業を少ないメンバーでカバーしていることに大変刺激を受けた。準備期間が半年を超えるものもあり、大きな事業を成功させるためには多くの時間と労力があるのだと認識することができた。またASPАの現場での会話はあらゆる言語が飛び交い、国際色豊かな環境で働かせていただくことで、言葉は分からなくてもグローバル化を体験できたのは新鮮だった。

次に、ASPАのホームページに関する仕事についてである。私は、4ヶ国語で翻訳されるASPАのホームページの日本語版の修正と、ホームページの改善点の提案をさせていただいた。日本語版を修正するにあたり、私が一番気を付けたことは事実の確認である。いくつかの資料を基に、間違っている言葉や文章を修正した。調べても分からないことは、素直に聞くことを心掛けた。この仕事は、ASPАの理解につながるだけでなく、ベンチャー企業の情報や大規模で行われているイベント等についても知ることができる学びの時間でもあった。ホームページはシンプルな様式でとても見やすいものである。最近では、就職氷河期などと言われていて、大手有名企業から有望な中小企業を目指す学生が増えている気がする。ASPАのホームページの「ビジネスガイド」には、技術的に優れた商品及び最新技術情報、ASPАアウォーズ受賞企業や優れた経営手法を実践している会社を紹介しているため、就職活動を控える私たちにとってASPАのホームページは参考になるサイトの一つだと感じた。

最後は、ASPAMapのアップデートについてである。ASPAMapとは、アジア地域にあるサイエンスパークやリサーチパークなどの情報をMapで見ることができるもので、トー

タル数は500を超える。その中で私は、日本にあるサイエンスパーク等のアップデートを行った。任されて驚いたことは、サイエンスパークの数である。日本の起業率が先進国の中でも低いことは有名だが、100を超えるサイエンスパークが存在するとは知らなかった。仕事を進めていて感じたことは、トップの交代が早いことである。世界は民間主導が強いが、日本は自治体主導の方が強いため、このような現象が起きていると感じた。一つ一つホームページを確認していくことは大変だったが、各自の強みや特徴、立地などをすることで多くの発見と達成感を味わう事ができた。

ASPAでの10日間の経験は、私の財産となった。実際に働くこととその意味を考える場となり、また日本という国を外から眺めることで再認識することができた。韓国での生活は、休日も含めとても充実したものとなり、その中で異文化に触れ勉強会に参加したことで多角的に物事を考えるようになった。ASPAでの経験と学んだことは、社会に出る者として今後役に立てていきたい。最後に、未熟者の私を支えてくれたASPAの皆さん、そして今回のインターンシップ参加に伴い協力していただいた多くの方々、ありがとうございました。

以上



(朝のミーティングの光景と ASPA のスタッフ)